

# 実技試験 準備品リスト

## 84 【随時2級 金属塗装作業】

「実技試験問題に『支給材料』『使用工具等』と書かれているもののうち、持参が必須のもののご案内です」

千葉県での受検では下記のものを人数分必ず持参して下さい。

(1名分)

改定日:2023.4.20

○材料

確認:2024.4

チェック欄	品名	寸法又は規格	数量	備考
	試験用被塗装物	(間口)×(奥行き)×(高さ)×(厚さ) 100mm × 200mm × 450mm × 1.0mm SPCC(冷間圧延鋼板) JIS G 3141	1	別紙参照
	鋼板	約100mm×200mm SPCC(冷間圧延鋼板) JIS G 3141 又は相当品	1	試し塗り用
	ラッカーパテ	JIS K 5535又は相当品	100g	
	ラッカーエナメル白	JIS K 5531又は相当品 つや有り	200g	※指定塗料 ナトコ(株) ワイドラッカー ホワイト LW-101
	ラッカーエナメル黄色(黄土色)	JIS K 5531又は相当品 つや有り	200g	※指定塗料 ナトコ(株) ワイドラッカー オーカー LW-147
	ラッカーエナメル赤(赤さび色)	JIS K 5531又は相当品 つや有り	50g	※指定塗料 ナトコ(株) ワイドラッカー ベネチアンレッド LW-160
	ラッカーエナメル黒(調色用)	JIS K 5531又は相当品 つや有り	50g	※指定塗料 ナトコ(株) ワイドラッカー ブラック LW-110
	ラッカーシンナー	上記ラッカーエナメル及びラッカーパテが希釈可能なもの	1/2L	脱脂用及び希釈用
	研磨布	P100	1/4枚	ばり取り用 さび落とし用
	耐水研磨紙	P240・P400	各1/4枚	水とき用、へら修正用
	マスキングテープ	12mm幅	1個	
	リターダー	上記ラッカーエナメルが希釈可能なもの	若干	
	ラッカープライマー (赤さび色)	JIS K 5535又は相当品 下塗り用プライマー 18秒 (室温 JIS K 5600-2-2 5mmフローカップ又は現場用の 簡易粘度カップ)の粘度のもの	若干	スプレーガンに入れておく
	ラッカーサーフェーサー (グレー色)	JIS K 5535又は相当品 中塗り用サーフェーサー 20秒 (室温 JIS K 5600-2-2 5mmフローカップ又は現場用の 簡易粘度カップ)の粘度のもの	若干	スプレーガンに入れておく

○工具等

チェック欄	品名	寸法又は規格	数量	備考
	作業台	0.8m(幅)×0.4m(奥行)程度	1	
	噴霧塗装設備	1 空気圧縮機及び空気だめ スプレーガン1個当たりの空気圧縮機の電動機の定格出力は0.75kw以上、圧力0.5MPa[5kgf/cm <sup>2</sup> ]のとき吐出空気量86L/min以上とし、空気だめもこれに十分応ずる能力のあるものとする。 2 吹付け用圧力調整器 3 エアスプレーガン(カップ付、下塗り及び中塗りに使用する) スプレーガンは重力式のものとし、ノズルの口径は、1.0mm～1.5mmとする 4 ホース 5 吹付け用作業台 吹付け作業の下塗り、中塗り及び上塗りは、被塗装物を垂直に立てた状態で行わせることとするので、このための作業台をスプレーガン1個当たり1個を準備し回転できるものとする なお、被塗装物を立てた場合、受検者の立つ床面から被塗装物の中心までの高さは1mとなり、立てた被塗装物の上端は水平となること 6 スプレーブース及び養生用シート 吹付け作業は、スプレーブースを使用することとし、ブースの周りを養生用シートで養生すること 7 強制乾燥機(必要に応じて)	1試験場当たり1以上	

計量器	1.材料を秤量するもの はかり(感度1g)、計量カップ又はこれに類するもの 2.吹付け塗りの塗料(下塗り用及び中塗り用)の粘度を測るもの JIS K 5600-2-2 5mmフローカップ又は現場用の簡易粘度カップ	1試験場 当たり 1以上	
材料調合用器具	攪拌棒またはこれに類するもの	1試験場 当たり 1以上	
材料配布用容器	種類 容量 数量 ラッカーエナメル用 200g用 2 同上 50g用 2 ラッカーパテ用 100g用 1 ラッカーシンナー用 1/2L 1 注 容器については、上記の容量を入れられるものを準備すること	6	
洗浄用容器	スプレーガン及びカップ洗浄用	適宜	
耐水研磨紙	P240 P400	適宜	へら修正用
へら修正用作業台		適宜	
リターダー配布用容器		適宜	必要と認めた場合のみ使用する。
残塗料廃棄用容器	石油缶に類するもの	適宜	
ウエス廃棄用容器	天切り石油缶に類するもの	適宜	
給排水設備	普通の水道設備	適宜	
消火設備	粉末系又は炭酸ガス系消火器あるいはこれに類するもので、消防法に定めるところによる	適宜	
救急用具		適宜	
エアスプレーガン	重力式で、ノズルの口径 1.0mm～1.5mm	1	上塗り用
あて木又はあてゴム		適宜	研磨用
へら	幅5cm以上7cm以内	2	材質は自由とする
定盤		1	パテ練り用
容器(脱脂用)	1/2L程度	1	
容器(調色用)	1/2L程度	2	
容器(水とぎ用)		1	
かくはん棒		適宜	割りばしでも可
ろ過用具		適宜	塗料をこすもの
ウエス	手ぬぐい程度の大きさ	適宜	
チェック欄	品名 寸法又は規格	数量	備考
	養生紙	適宜	テープ付きは不可
	ペイント缶の蓋をあけるもの	1	
	はさみ又はカッター	1	
	ものさし	1	さしがね(曲尺)は不可
	筆記用具	一式	
	作業服等	一式	作業帽(ヘルメット可)及び作業靴を含む
	有機ガス用防毒マスク	一式	
	保護手袋	一式	耐溶剤性手袋及び作業用手袋
	保護眼鏡	適宜	飛散した塗料・溶剤等が目に触れないもの
	飲料	適宜	熱中症対策、水分補給用
	受検票	1	コピーしたものは不可
実技問題	当協会から交付した原本 ※試験結果が出るまでは処分しないこと	1	コピーしたものは不可

※塗料は、上記の製品(メーカー及び型番)を指定とする。調達困難な場合は当職能協会へ相談すること。

※使用工具等は上記のものに限るが、同一種類のものを予備として持参することは差し支えない。

※飲料は、受検者が試験当日の天候や気温などをよく考えて、自分で必要と思う場合は、持参すること。

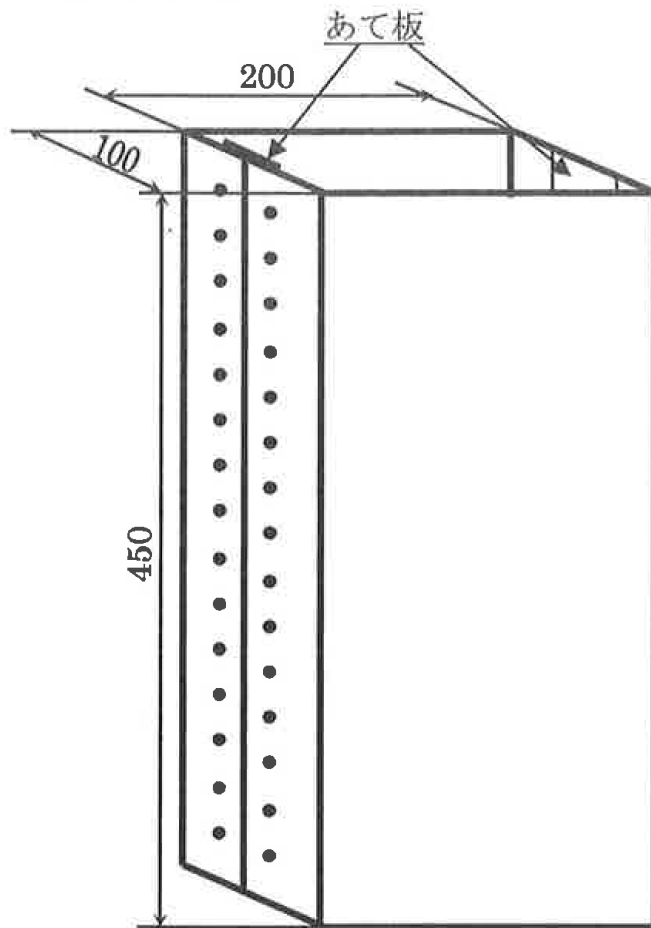
## 【随時2級 金属塗装 別紙】

### へ 試験用被塗装物

寸法、形状などは、次のとおりとし、受検者1人当たり1個を準備する。

寸法は、下図に示すように、 $1.0 \pm 0.2$ (厚さ)×100(間口)×200(奥行)×450(高さ)mmとする。あて板の厚さは $1.0 \pm 0.2$ mmとし、幅は自由である。

ただし、板取りの都合により生じた若干の過不足は、差し支えないこととする。加工に際しての溶接は、スポット溶接とし、スポットは一面15個×2列程度とし、曲げ角度の公差は、 $0^\circ \sim -1^\circ$  とする。



なお、軟鋼板は、割れ、変形などの欠陥のないものとし、バリ取り、さび落とし及び脱脂は、行わないものとする。

ト 調色及び吹付け塗りの際の試し塗りに使用する鋼板は、200mm×100mmとし、厚さは適宜とする。